

公共事業環境配慮書(案)

建設部砂防課

事業名称		
事業名	防災・安全交付金(通常砂防)事業	
整理番号	R4-1	
事業の種類	砂防堰堤の建設	
市町村名	大町市	
箇所名	やなば	
事業年度	平成31年度～令和8年度	
事業概要		
目的	ヤナバ沢1の流域は荒廃しており、溪床にも不安定土塊が堆積しているため、豪雨の際は巨礫混じりの土砂が流出する可能性がある。土石流対策として砂防堰堤を設置し、下流域の人家40戸、避難所1箇所、国道等を保全する。	
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	砂防堰堤(ヤナバ沢1)H=10.0m,L=107m,V=3300m ³ 砂防堰堤(ヤナバ沢1北側支川)H=8.0m,L=62m,V=1200m ³ 溪流保全工L=20m 管理用道路工L=169m,W=4.5m	
関連する事業計画	なし	
その他特記事項	なし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	砂防法の砂防指定地	
その他	なし	
社会的要素		
留意すべき地域の概況		
交通の現況	保全区域内には、国道L=470m、県道L=522m、JR大系線L=532mが存在する。	
土地利用の現況	山地・丘陵である	
生活関連施設の現況	事業地内に住居はない。 保全区域内には、人家40戸、避難所1箇所が存在する。	
その他	特になし	
自然的環境要素		
環境配慮の方針		
大気環境	留意すべき地域の概況	特になし
	【大気汚染の防止】	
	・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行はできる限り避ける。	
	・交通流の円滑化により、大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。	
	・土砂表層や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い、粉じんの飛散を防止する。	
	・排出ガス対策型の車両や機械を使用する。	
	【騒音、振動の防止】	
	・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働をできる限り避ける。	
・著しい騒音、振動を発生する工法を避ける。		
・低騒音・低振動型の建設機械を使用する。		
【悪臭の防止】		
・悪臭原因物質を使用しない又は使用量を削減する。		

水環境	留意すべき地域の概況	下流にため池が存在する。
	【水質汚濁の防止】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。 ・農薬を使用しない又は使用量を削減する。 ・チェーンソーを使用する際は、生分解性チェーンオイルを使用する。 ・水道水源、貴重な動植物分布地、取水地点、すでに汚染が著しい地域等への排水をできる限り避ける。 ・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。 	
	【水循環の保全】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・河川において、下流域の環境の保全のため、正常な流量を確保する。 ・掘削や地下構造物の設置等により地下水の流動を阻害しないように努める。 	
地形・地質	留意すべき地域の概況	山地である
	【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性を形成する重要な地形・地質の改変をできる限り避ける。 ・地すべり、崩壊、土石流等の危険性の高い地域や、近い将来活動する可能性のある活断層の区域の改変をできる限り避ける。 	
	【改変面積の最小化】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。 ・段階的に工事を行い、広範な裸地の出現を防止する。 ・工事により裸地化する箇所は、早期の緑化を行い、表層土壌の侵食を防止する。 ・工事施工ヤードの設置は、必要最小限の面積とする。 ・工事により一時的に改変する自然環境の原形復旧に努める。 ・法面勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。 	
野生動植物	留意すべき地域の概況	里山の地域である
	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変をできる限り避ける。 	
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・動物の移動経路の分断をできる限り避ける又は新たな移動経路を確保する。 ・回避措置を基本とするが、それができない場合は、重要な植物を個体群の維持が可能な生育適地へ移植・播種する又は生育地を創出し移植・播種する。 ・重要な植物の移植・播種又は重要な動物の移動を行った場合は、定着や繁殖の状況の確認を行う。 	
【動物の繁殖期における影響の低減】		
<ul style="list-style-type: none"> ・重要な動物等の繁殖期、産卵期の工事をできる限り避ける。 		
【地域独自の生物多様性の保全】		
<ul style="list-style-type: none"> ・車両、資機材、作業着、靴等を適切に洗浄し、外来種の持込み防止に努める。 ・特定外来生物が確認された場合は、関係機関と相談の上、駆除に努める。 		
【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】		
<ul style="list-style-type: none"> ・自然石、自然素材、多自然型製品等動植物への負荷の少ない素材を使用する。 		

景観	留意すべき地域の概況	森林景観を形成している
	【すぐれた景観の保全】	
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	
	【良好な景観の育成】	
自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	特になし
	【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
	・想定される影響はない。	
	【自然とのふれあい空間の創出】	
文化財等	留意すべき地域の概況	特になし
	【文化財等への配慮】	
	・想定される影響はない。	
	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
廃棄物・ 建設残土	・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。	
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	
	【資源の有効利用】	
	・使用基準等に留意の上、再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用を推進する。	
	・自然石、県産木材等環境に負荷の少ない資材の使用を推進する。	
省資源・ 省エネルギー・ 温室効果ガス	・信州リサイクル認定製品の利用を推進する。	
	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	
	・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	
	【エネルギーの有効利用】	
	・想定される影響はない。	
日照障害・ 電波障害・ 光害	【日照障害への配慮】	
	・想定される影響はない。	
	【電波障害への配慮】	
	・想定される影響はない。	
【光害への配慮】		
・想定される影響はない。		

防災・安全交付金（通常砂防）事業
（砂）ヤナバ沢1 大町市 やなば

位置図

